

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	赤穂市立御崎小学校	研究グループ名
	教頭 入潮 令子	(自然科学研究会)

研究テーマ分類番号 (11)

(1)研究テーマ		
自然環境への関心を培う緑のカーテン栽培活動と観察		
(2)研究経過及び具体的な取組		
5月 7日	研究の概要の協議、研究計画書の作成	
5月14日	緑のカーテン栽培環境の整備	
～20日	・内 容：①栽培土、栽培容器等の準備 ②児童に対する研究の内容と植物の栽培方法の説明 (対象児童30名)	
5月20日	山の芋の植え付けと栽培方法の講義 ・実施場所：御崎小学校中庭 ・参加者：御崎小学校実験クラブ児童、栽培委員会児童代表5名 ・講師：篠山東雲高校しのめ特産研究チーム(生徒4名、教師1名) ・成果：高校生が講師となって、見本を見せながら講義を行ってくれたため、親しみをもって話を聞くことができたと同時に、栽培方法がよく理解できた。その後、自分たちが植え付け実習を行ったことで、栽培への意欲が一層高まった。	
5月21日	栽培植物の植え付け(山の芋、ゴーヤ、スイカ、アサガオ等)	
～30日	・内 容：高校生に講義を受けた児童が、今度は講師になり山の芋の植え付け方の手本を示す。栽培の見通しをもって、丁寧に植え付けする。他の植物についても同様に中庭で栽培を開始する。	
6月～11月	緑のカーテン栽培活動と観察 ・内 容：①水やり、追肥を行いながら植物の育ちを観察すると共に、栽培植物の蔓をネットに這わせ、カーテン作りに取り組む。 ②カーテンの前と後ろの気温の違い、栽培植物ごとの日陰の気温の違いを測定し、緑のカーテンの効果を考察する。 ゴーヤ、スイカの収穫、アサガオの採種 ・内 容：夏に実のなるゴーヤやスイカ等は、随時収穫する。秋になって蔓が枯れた植物は後片付けを行い、アサガオは採種する。	
9月 8日	篠山市内小学校、篠山市役所等の緑のカーテン調査	
12月 5日	山の芋の収穫 ・成 果：植え付けや芽が出た時期が比較的遅かったことと、水やりや肥料の加減も初めての栽培で不安があったが、予想以上に大きな芋が収穫できた。児童も教師も感動した。	
12月10日	山の芋の調理計画、種芋の保管 緑のカーテン観察の成果のまとめ ・成 果：緑のカーテンの遮光効果としてはゴーヤが一番だったが、山の芋のグリーンカーテンには涼感があり、また、11月の紅葉の時期まで長い間カーテンの美しさを楽しめた。また、どの植物のカーテンからも、植物が成長する姿を観察する楽しさや食べることの喜びを与えられ、学校環境としての緑の存在価値を実感する機会となった。	